



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第2回
〈樹木①〉

「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう①(常緑低木・生垣編)」

日時：令和6年5月11日(土) 9:30～12:30

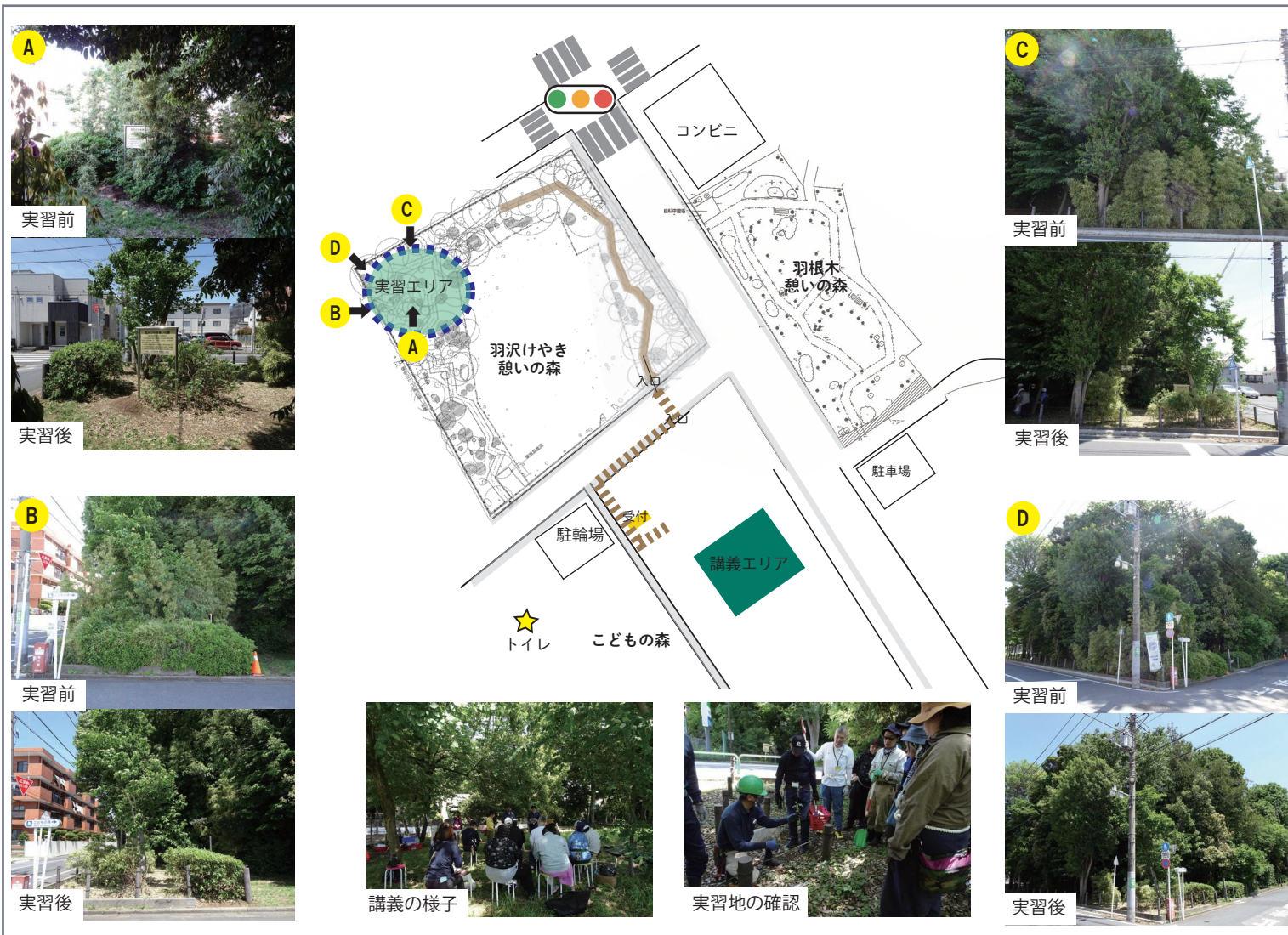
場所：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)



ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

憩いの森にある低木の管理や剪定の意義、安全管理のポイントの講義を受けたあと、オオムラサキの強剪定や枝抜き、ダイミョウチクの伐採、実生木の伐採等の実習を行いました。



安全管理のポイント

憩いの森等を安全・安心に管理するために、使用する道具の管理や取扱いを正しく行うことが大切です。剪定鋏を使う時は、柄の赤い方(上刃側)を親指側に持ちます。枝が切りにくい場合に、鋏を左右に回して切ると、鋏の噛み合わせが悪くなり切れなくなるので注意が必要です。鋏を上下に回して切る、枝をしならせて切る等、切りやすい方法で剪定をしましょう。他にも、ノコギリは引く力を意識してまっすぐ切る、刈込鋏は左手を固定して手を絞るように使う等、それぞれの道具の扱い方を確認しましょう。また、作業後に道具を適切に手入れをすることで、道具を長持ちさせ、切れ味の悪い刃物を使うことによるケガを防ぐことができます。そして、複数人で作業を行う場合は、必ず作業間隔を開ける、周囲を見る、声掛けをする等心がけて、安全・安心に活動を行いましょう。



今回のキーワード

憩いの森等の活動には、様々なメリットがあります。自然の変化や樹木の生長過程、樹木存在価値を自然に触れながら感じたり、樹木や草本の知識を深めたり、体力維持や健康増進等、心と体の健康を充実させたり、仲間と一緒に活動することで、効率的な作業分担や楽しさを共有することができる等、作業を通じて感じることができます。

今回の講座では、オオムラサキの剪定を行いました。開花後の剪定や、冬季の剪定ではどのような変化があるのか、若木と老木では萌芽力がどう違うのか、樹木の変化や生長は感じる事が沢山あります。1年間の講座を通して、楽しんでください。そして、管理されている森での活動に活かし、森を育ててください。



(一社)練馬環境造園協会